

英語観光マップ作成

外国人向け育成プロジェクト 観光ガイド

明治大学と新宮市など熊野地域の自治体が連携して観光活性化に貢献できる人材を育てる「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」講座が15日、新宮地域職業訓練センターで行われた。参加した70人が5班に分かれ英語観光マップとハンドブックの作成作業に取り組んだ。

このプログラムは、文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」として明治大学が自治体と連携し、6月14日から来年2月21日(成果発表)までの全20回講座で開催している。

受講者は新宮市を中心に和歌山県内外から117人の申し込みがあり、1回の講座に平均70〜80

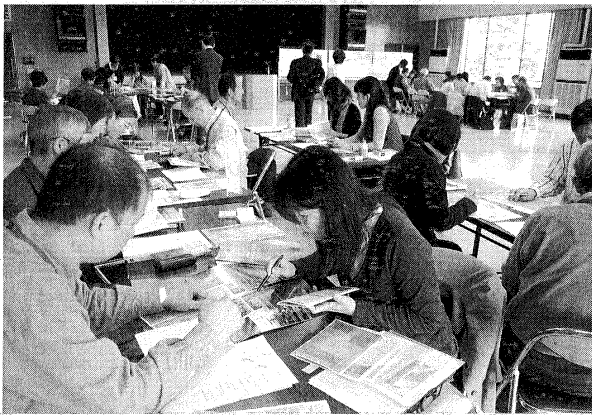
人が出席。英会話学習、異文化コミュニケーションの基礎、熊野地域の歴史と文化などの講義を受けてきた。

10月から始まった第4段階では、これまでの学習した内容を形に残すため、英語観光マップとハンドブックの作成に取り掛かった。この日は、前回に5班のプレゼンテーション(提示活動)の中

から選ばれたレイアウト案を基に、説明の英文を作成。

午前中は、5班それぞれが英文の内容をどのようにするか話し合い、午後にプレゼンテーションをして、その中から最も良いと思うものを全員で選んだ。

英語観光マップとハンドブックの製版は本年度中に行う予定だが、受講者たちは来年1月17日と18日に、自分たちが作ったマップとハンドブックを使ってガイド模擬体験(現地研修)をすることになっている。



ハンドブックづくりに取り組む受講者